

町史編さんだより

日野町史編さん室
TEL 72-0341

第4回

『伯州布施長氏とは何者が?』～穴水町は交流再開へ前向き～

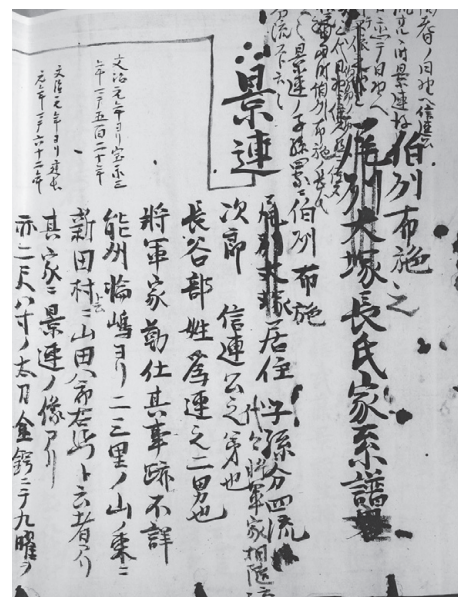
「町史編さんだより」の4回目は、歴史・民俗文化小委員会の町外調査として石川県穴水町を訪問。「伯州布施長氏」の謎を追いました。

同じく震災と過疎経験

石川県穴水町といえば「ああ行つたことがある」と思い出される町民もいらつしやるでしょう。日野町と因縁は深く、山田芳美町長時代の昭和55年に「ひの神楽」一行が親善訪問。同61年にも「金持まつり」を機に町民の大旅行団がブルートレイン貸し切りで能登半島の穴水へ乗り込み、交流を深めたことがあります。

その穴水町を町史調査研究の一環として5月下旬に訪問しました。

鳥取県西部地震に見舞われた日野町と同様に穴水も平成19年3月、能登半島地震(最大震度6強)によつて大きな被害を受けました。大旅行団の訪問当時に1万5千人だった町人口は8千人台に減り、町村合併を拒否した代わりに古代から続く鳳至郡が消滅し、珠洲郡と一括した鳳珠郡となったそうです。幸い穴水町長や教育長に面会でき、鎌倉幕府当初から能登の歴史を切り開いた平家物語の武将・長谷部信連を柱に、日野町との交流再開を望む



▲宝永3(1706)年ごろに前田家の藩老長氏が家譜編纂調査のため、一族の伯耆国布施長氏に照会して系譜を書写、整理したもの

信連再起の時期一致?

さて穴水町での調査は多岐にわたりましたが、重要課題の一つは「伯州布施長氏(長氏は長谷部氏の略)」の解明でした。その始祖は九郎信連の弟の十郎景連とされ、呼び名から伯州(伯耆国)に日野長谷部氏とは別の系譜が存在したようです。

因幡国エリアなら鳥取市近郊に布施はありますが、同地に長氏の痕跡は皆無。ならば布施長氏とは何者か? この謎は劇的な要素を含んでいるかもしれません。

というのも、いわゆる源平争乱クライマックスの寿永3(1184)年3月、

朝廷中枢にいた九条兼実は皇の王子と称する者が三徳山で挙兵し伯耆国の半分を占拠したと記しています。一方、信連は3年余り前の以仁王(後白河法皇の第3皇子)の乱で捕えられて京から日野郷金持へ配流となりましたが、同時期の寿永年中に今も土豪屋敷跡のある下榎へ移り、一族郎党が参集したとされます。

状況を勘案すれば、この三徳山争乱は日野長谷部氏(金持一族を含む)の再起につながる一大事件であった可能性があります。

美作に布施荘が存在

とかく町史というのは現代の行政的な枠に制約されがち。伯州布施長氏の正体

も案外、「灯台下暗し」なのかもしれません。

旧関金町史は伯耆国人衆の長氏が矢送荘(現在の関金宿付近)に領地を有したとしていますが、日野町側から調査した実績は無いようです。また「鳥取地域史研究」第9号で北栄町の歴史研究家・日置桑左門さんは、矢送荘が蒜山周辺にあった美作国布施荘と隣接し、交流が密だったことを指摘。伯州布施長氏の探求に刺激を与えてくださいました。

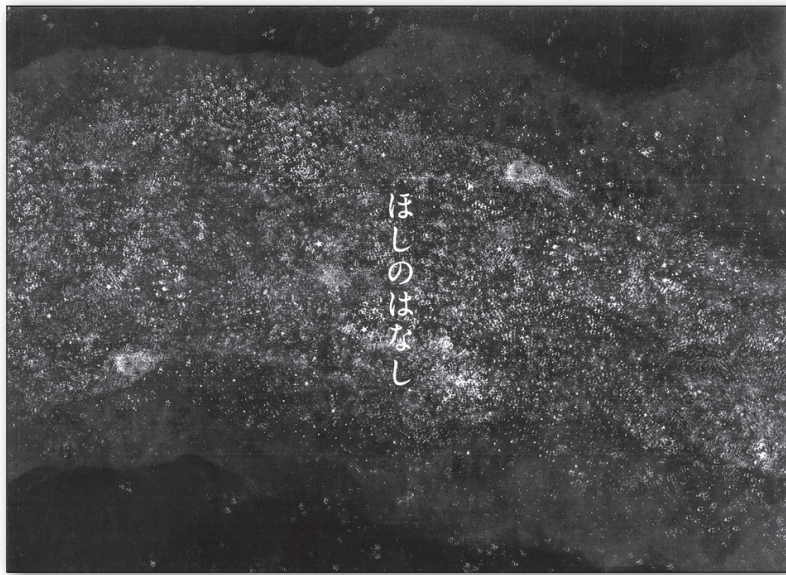
驚いたことに、穴水町歴史民俗資料館でコピーを入手した伯州布施長氏系譜は表題を「尾州大塚長氏」から訂正して書き込まれています(写真参照)。この尾州(尾張国)長氏の末裔は、有名な「大山寺縁起絵巻」の発願者・了阿ではな

いか? との研究報告も最近発見しました。日野―穴水―尾張―大山―関金。それぞれを繋ぐ鍵は容易に開きませんが、まだ日野町には多大な文化資源が眠っていることを実感しています。(頼田直真 歴史・民俗・文化小委員長)

【日野町図書館 おすすめの1冊コーナー】

読んでみたらんかな～

職員が勝手に
ススメる1冊♪
“今読みたい本”が
見つかるかも!?



『ほしのはなし』

北野 武 著 / ポプラ社

我が家の子どもに読むための絵本を探している時に、本の表紙に惹かれて手に取ったのが、この本との出会いでした。

群青色の背景に星が散りばめられた表紙は、夏の夜の天の川を思わせ、この季節にぴったりだなと感じました。作者を見ると北野武さん。私の中で映画や絵画のイメージが強かった作者がどのような内容の絵本を書くのかとても興味深いものでした。

物語は、祖母を亡くした主人公の「ぼく」が、一人で祖父の元を訪ね、星空を眺めながら話をするとところから始まります。子ども向けの絵本と思って読み始めましたが、大人が読んでも心がじんわりと温まり、自分を見つめ直すことができる内容でした。

この絵本には「しかけ」があり、最後には絵本の世界に入り込んだような感覚になります。絵本のため文章が少ないので、子どもの読み聞かせだけでなく、忙しい大人にも心を休めるために手に取って読んでもらえたらと思います。

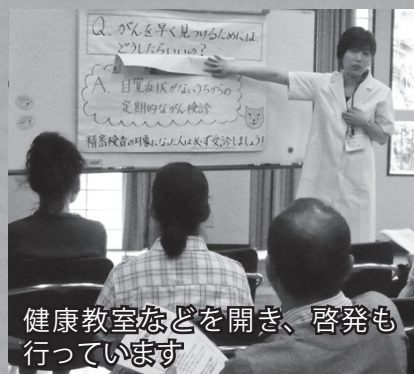


この本を紹介してくれたのは…

健康福祉センター・
子育て世代包括支援センター（健康福祉課）
保健師 なんば ちえ 南場 千恵

担当業務：健康増進事業、健康教育・健康相談、がん対策ほか
南場さんからひと言：

「保健師として日野町に採用され、今年の秋で2年になります。仕事の内容は住民の皆さんの健康づくりに関することやがん検診です。まだまだ分からないことがあります。皆さんの健康づくりのために日々活動しています。



健康教室などを開き、啓発も行っています

検診や健康づくり教室などで地域へ出かけ、少しずつではありますが、地区や皆さんの様子が見えてきました。皆さんの健康づくりのために、少しでも力になることができればと思いますので、気軽に声をかけてください。

また、8月から今年度の女性がん検診が始まっています。がんを早く見つけるためには、自覚症状がないうちから定期的にごがん検診を受けていただくことが大切です。自分自身のためだけでなく、大切な人のためにも、ぜひ、がん検診を受けてください。よろしくお願いします」



職員紹介

“実は隠れ鉄道(新幹線専門)ファン”
あなたの健康も安全運行!